

おおさか看護だより

2018 FEBRUARY

No.129

公益社団法人
大阪府看護協会
<http://www.osaka-kangokyokai.or.jp>

- 02 会長あいさつ/協会新ロゴお披露目
- 03 **特集1** 第5回大阪府看護学会レポート
- 06 第3回 准看護師制度に係る懇話会 開催
- 07 **特集2** 全世代型地域包括ケアシステム構築に向けて～大阪府看護協会の取り組み～
- 10 医療安全通信
- 11 「働く」から「働き続けられる」へ
- 12 これからの教育プログラム
- 14 協会からのお知らせ/秋の叙勲/理事会だより
- 15 入会のお知らせ
- 16 改選役員等の推薦及び立候補について

特集1

第5回大阪府看護学会レポート

特集2

全世代型地域包括ケアシステム構築に向けて ～大阪府看護協会の取り組み～



全世代型地域包括ケアシステム構築に向けて ～大阪府看護協会の取り組み～

地域包括ケアシステム構築に向けた 多職種との連携推進研修

地域包括ケア委員会の取り組み

地域包括ケア委員会では「地域包括ケアをみんなで考え参加しよう」をコンセプトに地域施設実習を含む3回シリーズの研修を実施しました。今回は230名が受講した1日目のシンポジウムの内容をご紹介します。11月25日(土)大阪府医師会副会長の中尾正俊先生の基調講演と4名の地域活動報告から「地域包括ケアシステムと在宅医療推進における看護職の役割」をテーマに開催しました。

基調講演では高齢者が増加する現状を踏まえ、まず日常生活圏域で地域包括ケアシステムを整備することが必要、多職種で患者と一緒に担当するなど様々な交流機会を持つ等「顔の見える関係」で在宅医療を推進しなければならず、今後10数年間は在宅医療の需要増が見込まれるため、病院での退院時支援・生活の場での療養支援・急変時・さらには看取り期支援まで時期に応じて在宅医療の質向上が求められる。特に看取りは多職種連携による実践が重要で、最新情報や事例を通じて取り組み、機運を醸成していきたいと述べられました。大阪府医師会は市町村に設置された在宅医療介護連携推進コーディネーターの育成研修や個別疾患に関わる多職種研修等で人材育成を図り、また大阪府看護協会が30年度から実施する「特定行為研修」にも協力し応援していくと強調されました。さらに今後の地域医療構想にも言及され病院の施設基準の算定状況から地域包括ケア病棟や介護医療院等の医療提供体制構築の方向性を示されました。



中尾 正俊 先生



次に、行政の立場から大阪市健康局 藤井広美氏、地域包括支援センターの立場から泉大津市地域包括支援センター 曾我智子氏、福祉施設の立場から小規模多機能居宅介護あっとほーむ六尾の郷 武田泉氏、訪問看護ステーションの立場から訪問看護ステーションゆいか 錦織法子氏の4名のシンポジストが日頃の活動を報告されました。受講者からは、予防の視点で看護の機能を働かせたい、医療・介護コーディネーターに相談していきたい、地域を取り巻く医療と介護の動向が理解できた等多くの感想が寄せられ、盛会のうちに終了しました。

広告

近畿大阪

メディカル
カードローン

医療業界に関する
国家資格保有者限定

お使いみち自由

最大800万円まで

【お問い合わせ】近畿大阪銀行 法人ソリューション部 TEL.06-7638-5215



近畿大阪銀行